

〈今月の特集〉
注射針の残留について

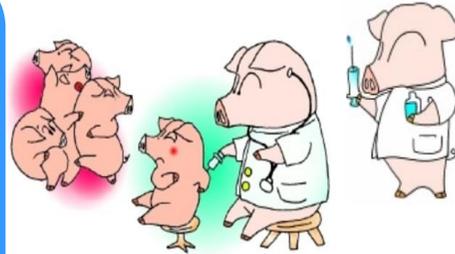
●注射針が残留するとどうなる？

食肉中に注射針が残留していた場合、豚肉を食べようとした消費者が負傷する可能性があります。このような事件は畜産物の信頼を損ねるだけでなく、生産者や販売者が**被害者から賠償請求される可能性**もあります。

●注射針が筋肉に残留する原因は？

- ① 注射時に針が折れてしまう
 - ・曲がった注射針を伸ばして再使用している
(一度曲がった針は強度が低下し、折れやすくなります)
 - ・注射時に豚が暴れる
- ② 注射針の管理の不備 (針を落とす・紛失する)
 - ・針を交換する際に落とす
 - ・交換用の針を容器ごと落とす

落下した針を
豚が口にする



食肉中に残留していた注射針

●防止対策

- ・注射時に保定を確実にを行う
- ・針が曲がったらすぐに交換する
- ・注射時に**針先を目視確認**する
- ・落下しても容易に拾える場所で針を交換する
- ・給餌器の上や、豚が届く場所に注射針の容器を置かない
- ・注射前後の**針の本数を確認**する

●注射針が折れてしまったら

- ・折れた注射針を取り除く
- ・折れた注射針が床に落下していないか確認する
- ・取り除けない場合はその豚を**マーキング**し**個体識別**できるようにする
(個体のマーキングができない場合は群で識別できるようにする)
- ・注射針が残留した疑いのある豚を別の豚房に分け、台帳等で管理する
- ・出荷の際、**と畜場へ注射針が残留している旨を申告**する

金属探知機やX線検査機等を用いても**残留した注射針の材質や角度によっては反応しないケースもあり、加工段階での除去には限界があります。残留対策にあたっては生産段階での管理が不可欠です。**

安全な食肉を提供するため、農場での針の残留を防ぐことと、残留した豚を特定できるようにすることが大切です。

お肉のほっと！ページ
データ還元事業

関連記事にスマホで簡単
アクセス！

